

平成28年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	平成28年9月20日(火) 広島合同庁舎4号館第12号共用会議室
委員	森嶋 久雄 (委員長/不動産鑑定士) 伊藤 博文 (委員長代理/税理士) 田邊 尚 (弁護士) 川西 澄 (大学院准教授)

I 建設工事等に関する審議

審議対象期間	中国四国防衛局 平成28年3月1日～平成28年6月30日		
審議対象件数	58件		
1. 入札状況について(参加資格の設定、指名及び落札決定の経緯等について)			
抽出件数	7件	(審議概要) 「抽出案件」 ・建設工事 「報告事項」 ・低入札事案について ・不調事案について ・指名停止等の措置状況について	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)		0件
	一般競争(政府調達協定対象外)		7件
	公募型指名競争		0件
	指名競争		0件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等	0件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【抽出案件】 ○建設工事 【一般競争入札】(政府調達協定対象外) 《呉(27)青山庁舎新設等建築その他工事》 ・1者応札、高落札率となっている理由は何か。 ・入札参加者が1者であることは、入札参加業者には分かるのか。	・本工事は改修工事を含む工事であるため、当該改修工事については見積活用方式を活用したものの、改修工事は現場の調整事項が多く、利益が出にくいこと、また、新設工事と同規模の改修工事が含まれているため、多くの入札参加者が見込めない状況であり、1者応札となったものと思料する。 また、官側の予定価格の算出基礎となる積算基準類や積算単価を公開していることや、改修工事に係る現場の調整事項が多く、利益が出にくいことから、高落札率となったものと思料する。 ・電子入札システムでの入札なので、1者であることは分からないようになっている。	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・見積活用方式ということだが、見積を徴するのは入札参加した業者1者のみか。</p> <p>・今回は、1者のみの見積をそのまま採用しているが、複数者の場合はどうするのか。</p> <p>・複数者の場合は平均値を採用することで金額が落ち着くと思われるが、1者のみの見積の場合はその見積が正しいかどうかをどう判断するのか。</p> <p>《陸自美保（27）誘導路新設等土木その他工事》</p> <p>・12者参加しているのに落札率が少し高めとなっている理由は何か。</p> <p>・施工体制確認の際、資料を提出せずに入札が「無効」となったとのことであるが、良くあることなのか。</p> <p>・当初概算額が約4億8千万円となっているが実際の予定価格は約3億4千万円となっている。この差は何か。</p> <p>《岩国飛行場（H27）コミュニティ地区屋外給汽管整備工事》</p> <p>・1者応札となっている理由は何か。</p> <p>・給汽管整備工事を施工できる業者は、ほかにはいないのか。</p> <p>・施工可能な業者がいるにも拘わらず1者のみとなった理由は何か。</p>	<p>・そうである。</p> <p>・平均値を採用する。</p> <p>・見積については、ヒアリングを行い確認して採用している。</p> <p>・12者の入札参加があったが、そのうち3者が入札金額が調査基準価格を下回り施工体制確認を行ったところ資料の提出ができないということで、「無効」となり、1者が予定価格超過となったため、予定価格の範囲のうち有効な入札は8者であった。 価格順であれば、落札した業者は6番目に低い金額で、落札率は93.17%であったが、評価点が他者より高かったため、落札者となったものである。</p> <p>・調査基準価格を下回った入札をした場合、施工体制確認のための資料を短い期間で作成することができず「無効」となることは良くあることである。</p> <p>・概算額と詳細に積算した額との差であり、積算精度の差である。</p> <p>・入札公告の時期が年度後半となったことから、技術者の確保ができなかったため、1者しか入札に参加できなかったのではないかと思料する。</p> <p>・ほかにも施工可能な業者はいる。</p> <p>・施工は可能であるが、年度後半の発注であるため、既に手一杯で前述のとおり、技術者の確保が難しかったものと思料する。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・ 2回目の入札に移行する基準はあるのか。</p> <p>・ 相手方は2回目の入札にどの程度入札金額を落とせば落札できるのかということが、分かるようになっているのか。</p> <p>《日本原（27補）庁舎改修建築その他工事（その1）》</p> <p>《日本原（27補）庁舎改修建築その他工事（その2）》</p> <p>・（その1）、（その2）の工事内容は同じか。</p> <p>・ 予定価格の違いは、その差と考えると良いか。</p> <p>・ 入札は同時に行われるのか、それとも（その1）の入札後、（その2）の入札があるのか。</p> <p>・（その2）を落札した者が（その1）に参加していない理由はということが考えられるか。</p> <p>《岩国飛行場（H27）愛宕山（住宅地区）給水施設等整備電気その他工事》</p> <p>・ 1者辞退し2者での競争となっているが、入札を3回行っている。第3回の入札を行った状況について確認したい</p> <p>・ 3者とも県内の業者か。</p> <p>・ 予定価格の積算方法はどうか。</p> <p>・ 2回目で辞退したものは何故辞退したと思われるか。</p>	<p>・ 入札回数は原則2回までとしており、2回目の入札までは自動的に実施する。</p> <p>・ 1回目の入札で開差が大きい場合は、2回目の入札前に積算の考え方等について補足説明を行う事があるが、金額については何も示さない。</p> <p>・ 同じ内容の工事であるが、（その1）については（その2）にない、建物内部の改修工事が含まれている。</p> <p>・ そうである。</p> <p>・ 本件は電子入札システムでの入札のため、入札と開札が同一日ではなく、開札時間も差があるが、入札締切りの時間は一緒である。</p> <p>・ 申請の際、他の工事の入札との兼ね合いから、技術者を複数人登録することが可能であるが、（その2）を落札した者は技術者を1人しか申請時に登録されていないことから、登録できる技術者がなく、耐震改修のほかに内部改修工事が含まれる（その1）を敬遠したのではないかと思料する。</p> <p>・ 2回目の入札で1者辞退したところであるが、予定価格との差が少なかったため3回目の入札を行ったところ、予定価格の範囲内での入札となったものである。</p> <p>・ そうである。</p> <p>・ 機器についてはメーカーから見積を徴し、その他については積算基準により積算している。</p> <p>・ 1回目の入札後、入札参加者に入札結果が通知されるが、最低入札金額も記載されているため、1回目の最低入札金額以下での受注は困難と判断して辞退したものと思料する。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・やはり、入札回数が多くなると落札率が高くなるということは否めない。</p> <p>《徳島（27）ボイラー施設整備等土木その他工事》</p> <p>・他の土木工事は比較的落札率が低めであるのに対し、本工事は落札率が高く、入札も4回行っている。高落札率となった理由と、4回の入札を行った状況について確認したい。</p> <p>・入札の日程を確認すると1回目から4回目までの入札を1日で行っている。岩国飛行場（H27）愛宕山（住宅地区）給水施設等整備電気その他工事では、日にちを空けて入札させている。この違いは何か。</p>	<p>・開差が大きすぎると入札を不調とするため、入札回数が多くなるということは、予定価格に近い金額で入札金額を刻んでいる状況であると考えられるため、落札率が高くなるものと思料する。</p> <p>・本工事は、燃料タンクという特殊な構造体が占める割合が比較的大きく、積算基準がないため、見積を徴し予定価格の積算をしているものであるが、見積の割合が高いため、一般的な土木工事に比べて利益が少ないため、高い落札率になったものと思料する。</p> <p>4回の入札の状況は、1回目の入札での開差が18%、2回目3%、3回目1%となり、4回目の入札で予定価格の範囲内の入札となった。</p> <p>入札回数については原則2回としているが、3回目以降の入札については相手方の受注意欲を確認したうえで実施しているところであり、今回は4回まで入札を行ったものである。</p> <p>・岩国飛行場（H27）愛宕山（住宅地区）給水施設等整備電気その他工事については次の入札を行う前に補足説明を行った際、入札参加者に対し必要な積算期間を確認し、日にちを開けた入札を設定したものであるが、本工事については再度積算期間が必要となるような補足説明はなく、その日のうちに4回目入札まで行ったものである。</p>

	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	【報告事項】 ○低入札事案について（1件） ○不調事案について（1件） ○指名停止等の措置状況について（4件）	・なし ・なし ・なし
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0件	(審議概要) なし
工事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	なし	なし	
○委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		

3. 入札結果の事後的・分析結果について		
審 議 概 要	なし	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	なし	なし
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし	

4. 再苦情処理（再説明請求回数）					
再苦情申立件数 (再説明請求件数)		総件数	0 件	(備考) なし	
建 設 工 事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件		
	公 募 型 指 名 競 争		0 件		
	指 名 競 争		0 件		
	随 意 契 約		0 件		
建設コンサルタント業務等			0 件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)		申立日	件 名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問		回 答		
	なし		なし		
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし				

II 契約実施機関が締結する契約（建設工事等を除く。）に関する審議

契約実施機関：中国四国防衛局

審議対象期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日	
審議対象件数	438件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	6件	(審議概要) 抽出案件 ・一般競争契約 報告事項 ・談合疑義案件の処理状況について
一般競争	6件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【抽出案件】 (一般競争契約 1者応札) 《中国四国防衛局OAネットワーク・システムの運用支援業務》 落札率：96.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者応札となっている。過去5年の入札状況を確認したい。他者が参加できないような特殊な業務なのか。 ・複数者参加している時には落札率が下がり、1者の時には落札率が上がる傾向にある。複数者参加にする工夫はしているか。 ・入札参加者は他に参加する者が分かる様になっているのか。 ・紙入札なのか。 ・競争を確保するため複数者に競争参加してもらえるよう工夫して欲しい。 <p>《業務用車両借上》 落札率：91.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者応札となっている。過去5年の入札状況を確認したい。レンタカーの会社はほかにもあるが、1者応札となった理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・システム管理業務としてはごく一般的な業務である。 ・過去に入札を行った業者に対し周知する等行っている。 ・事前には分からないが、入札会場に自分以外いなければ1者である事が分かる。 ・そうである。 ・了解した。 ・平成24年度から26年度は複数者参加だったが、27年度が1者応札となった。 過去の入札参加者に不参加理由を確認したところ、27年度に経費削減のために軽自動車の借り上げを新たに導入したが、「軽自動車は保有しているもの

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・予定数量がかなり多く、小規模事業者の参加は難しいのではないかと。相応の規模が必要があるという事か。</p> <p>・各年度において、予定価格の差があるが何故か。</p> <p>・平成26年度までは落札率が60%程度だったのに、27年度は突然91.4%となっている。理由は何か。</p> <p>《平成27年度秋月弾薬廠所属駐留軍等労働者（船員除く）の定期健康診断等実施業務》 落札率：74.3%</p> <p>《平成27年度中国四国防衛局定期健康診断等》 落札率：64.3%</p> <p>（一般競争契約 複数者応札） 《駐留軍等労働者の定期健康診断及び特殊健康診断の業務委託》 落札率：99.3%</p> <p>・3件とも同様の業務だが、平成27年度中国四国防衛局定期健康診断等については2者参加していたのに1者が辞退し、1者応札となっている。理由は何か。</p> <p>・3件とも同じ者が落札者となっているが、落札率に差がある理由は何か。</p>	<p>の、国の要望に応えきれぬかどうか判断しかねた」との事であった。</p> <p>そのため、平成28年度については、「発注者が指定した車種が用意できない場合は、発注者の指定した車種の金額で、同等以上の車種の引渡しを行う事とする」との条件を加えたところ、3者の応募があり、落札率も83%に下がった。</p> <p>・範囲が中国四国管内全域となっているので、相応の規模が必要となる。</p> <p>・予定数量の違いによるものである。</p> <p>・紙入札だったので、入札会場に1者しか居らず、他に競争相手がいないことが分かったため、高落札率となったものと思料する。</p> <p>・平成26年度までは複数者の参加があり、27年度に初めて1者応札となった。辞退理由を確認したところ、手持ちの業務があったため入札を辞退したとのことだった。</p> <p>・予定価格の積算方法は、市場価格を採用しており、3者見積で総価最低価格を採用しているが、検査方法が違うものもあり、入札価格に違いが生じているものと思料する。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度秋月弾薬廠所属駐留軍等労働者（船員除く）の定期健康診断等実施業務においては3年間辞退が続いているが理由はなにか。 ・平成27年度中国四国防衛局定期健康診断等は年度毎に内容が変わる要素はあるのか。 ・各年度落札率が上下しているようだが何か理由があるのか。 <p>《駐留軍等労働者に対する健康管理等に係る業務委託》 落札率：100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者応札で落札率が100%となっている理由は何か。 ・過去5年間の落札者は3者いるが、全て山口県内の者か。 ・平成26年度に予定価格が上がっているのはここで勤務日数が増えたということか。 ・平成25年度まで随意契約を行っていた者が、入札に参加できなくなったのはこのためか。 ・予定価格については慣例的な金額になっているのか。 ・市場価格調査は過去参加した者からも見積もりを取っているのか。 ・複数者に参加してもらうことはできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・推測ではあるが、落札者の価格競争力が強すぎて、他者が入札を見合わせているのではないかと思料する。 ・変わるのは受診人数くらいである。 ・業務内容は毎年同じであるが、予定価格に3者見積りで総価最低価格を採用しているため、その見積価格が高くなれば落札率が下がり、見積価格が低くなれば落札率が上がるという状況である。 ・平成25年度までは随意契約だったが、26年度以降は勤務日数の増加により一般競争入札に移行した。 岩国市において産業医を確保することが非常に難しく、周知はするものの、結果的に1者応札となっている。 ・2者は山口県内の者であるが1者は全国規模の業者である。 ・そうである 平成25年度までは年間20日間の勤務に数だったが、26年度からは月に3ないし4日の勤務に変わった。 ・開業医であり、勤務日数の増加に対応できなくなったと聞いている。 ・市場価格調査に基づいて、予定価格を作成している。 ・そうである。 ・岩国市以外に範囲を広げて周知を図る事も考えられるが、現実的に産業医を岩国市に派遣するというのは難しい。

2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義件数	1 件	(審議概要) 談合疑義案件についての 処理状況を報告
談合情報	0 件	
点検結果疑義	0 件	
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	・適正に処理されていると認める。	なし。
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし。	

3. 再苦情処理（再説明請求回数）				
再苦情申立件数 (再説明請求件数)	総件数	0 件	(備考) なし。	
一般競争		0 件		
指名競争		0 件		
随意契約		0 件		
再苦情申立概要 (再説明請求概要)	申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等	意見・質問		回 答	
	なし。		なし。	
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし。			